平成27年度

日本丸メモリアルパーク

指定管理者　年間事業計画書

帆船日本丸記念財団・JTBコーポレートセールス共同事業体

目　次

1、指定期間の目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

2、指定期間の目標達成に向けての当該年度の目標・・・・・・・・・・・・・・・2

3、前項を達成すべき取組概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

4、管理執行体制

(1)職員配置体制表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

(2)責任体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

(3)防犯・防災対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

(4)事故・災害発生時対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

(5)緊急連絡体制表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

5、指定管理業務計画書

(1)年間事業計画表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

① 運営業務に関する計画表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

② 管理業務に関する計画表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

③ 提案事業に関する計画表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

④ 外部委託予定表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

⑤ 要望対応方針・事務フロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

⑥ 研修計画表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

6、指定管理業務に係る当該年度の収支計画表

(1)収入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

(2)支出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

7、年間の指定管理業務の範囲外の事業計画表及び収支計画表

(1)事業計画表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

(2)収支計画表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

1、指定期間の目標

(1)帆船日本丸及び横浜みなと博物館来館者数・・・20万人

(2)日本丸メモリアルパーク来場者数・・・100万人

(3)21年度の指定管理料(3億円)・・・10%節減

2、指定期間の目標達成に向けての当該年度の目標

(1)帆船日本丸及び横浜みなと博物館来館者数・・・20万人

(2)日本丸メモリアルパーク来場者数・・・129万人

(3))21年度の指定管理料(3億円)・・・10%節減(指定開始後、業務増になった部分、消費税影響額等を除く)

3、前項を達成すべき取組概要

(1)帆船日本丸及び横浜みなと博物館来館者数・・・20万人

平成27年度は、帆船日本丸が横浜に誘致され、一般公開を開始してから30周年を迎えます。

4月には、帆船日本丸公開30周年記念式典をはじめ様々な記念イベントの開催や、帆船日本丸を活用した市民参加・体験型の事業展開を図るとともに、これまでにも増して、市民の皆様に日本丸の事業活動をより理解していただけるよう努めます。また、一般公開を開始してから入館者数が500万人に達する見込みです。

横浜みなと博物館では、帆船日本丸公開30周年を迎えるにあたり、記念の展覧会と関連事業について帆船日本丸公開と一体となって取り組むとともに、既存事業の一層の充実を図り、多くの人が海や港、船に親しみ、興味を持つことができるように、体験的な教育プログラムを用意します。そして、こどもから大人、ファミリーまでが楽しめる博物館づくりに努め、リピーターと新しい入館者の増加を図ります。

新たな集客増加に向け、Wi－Fi環境を整備し、今後ますます増加が見込まれる訪日観光客獲得の取組として、昨年度導入した「多言語ガイドシステム」を活用していきます。また、訪日観光客に対しての「キャンペーン」や訪日観光客向けのウェブサイトで情報発信などの取組により、目標の20万人達成を目指します。

(2)日本丸メモリアルパーク来場者数・・・129万人

総帆展帆やアリーナにおける各種イベント(吹奏楽演奏会、フリーマーケット、GW・夏休み・クリスマス・正月・周年記念のイベント)の拡充に加え、帆船日本丸公開30周年記念イベントとして、(1)公開30周年記念式典<4月29日(水・祝)>(2)記念イベント①Dance Dance Dance at Yokohama2015のパートナー事業「ダンスイベント」の開催<5月GW>②ジャズフェスティバル at NIPPON－MARUの開催<5月GW>③帆船日本丸子供絵画展の開催<6月～7月>④帆船日本丸新旧同時総帆展帆の実施予定<5月31日(日)>。また、7月には国際海事機関加盟各国の「世界海の日パラレルイベント2015」が日本で開催される予定でありこの関連イベントに協力し、内外のお客様をお迎えします。このほか、みなとみらい21さくらフェスタ2015、ヨコハマ大道芸2015などMM21地区のイベントに積極的に参加するなど、パークの有効活用を進めていきます。

水辺の事業シーカヤック体験教室は、NPO法人横浜シーフレンズと連携し日本丸メモリアルパークの内水域及び汽車道側水域において実施しており、平成27年度は土日や祝日に開催する一般教室や子供教室に加え平日教室の追加開催のほか、横浜カヌー協会「日本丸杯カヌーポロ大会」、横浜青年会議所「横浜開港祭マリンイベントとしての子供教室」、他都市でもあまり例を見ない独特の事業で、認知度も向上し従来以上に安全の確保をしつつ、横浜港の看板イベントになるようインナーハーバーの賑わい創出に努め、また、パークの清掃・整備はもとより防犯・防災の対策強化や事故・災害発生時の緊急対応等安全確保に努め、市民が安心して憩い、くつろげる空間を提供し目標の129万人達成を目指します。

(3)21年度の指定管理料(3億円)・・・10%節減

継続してLED推進や各室の未利用時にこまめな消灯による光熱水費、コピー用紙の裏面再利用など徹底した事務費等経費の節減を実行し、指定管理料を10%縮減します。

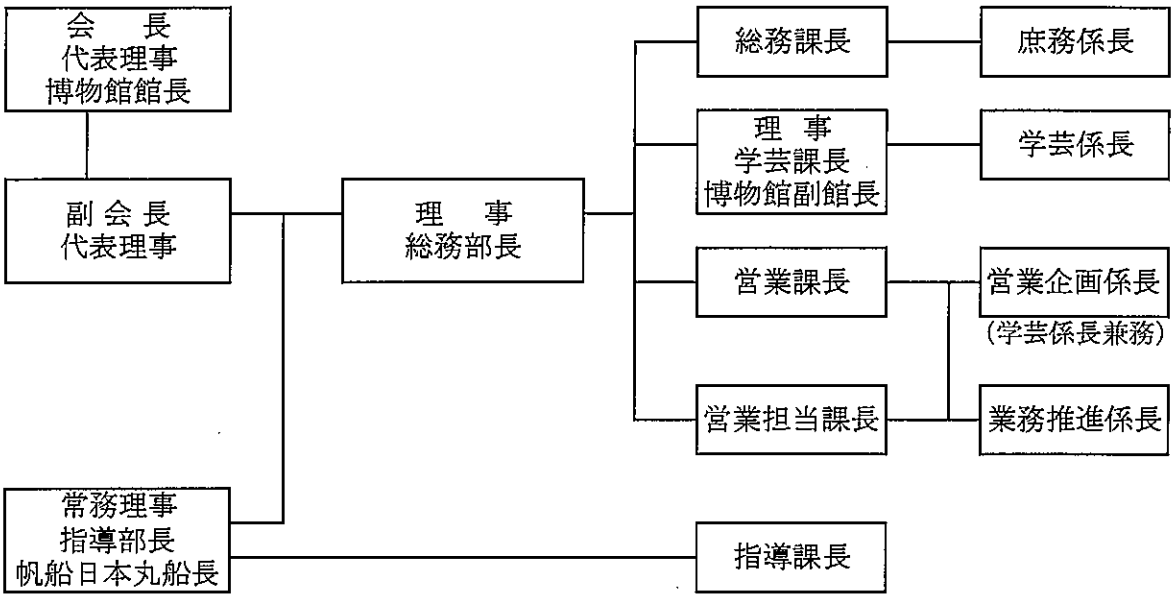
以上、日本丸メモリアルパークの管理運営に関する基本協定書第40条に基づき、平成25年度実施された第三者評価の結果、また平成27年度は、横浜市外郭団体等経営向上委員会の協約に関する答申にある、他の観光資源との連携取組により目標の達成を目指します。

4、管理執行体制

(1)職員配置体制表

指定管理者の業務となる「日本丸メモリアルパーク施設」(以下「施設」という。)の管理運営については、次の職員配置体制で業務を執行するものとします。

①組織図



②職員配置

業務内容	所　管		分担業務	所属員	備　考
一般管理業務	総務課	庶務係	庶務、経理、人事、給与、労務 理事会等、指定管理、売店運営	4名	アルバイト3名配置 売店運営
横浜みなと博物館 管理運営業務	学芸課	学芸係	常設展示事業、特別展示事業、 教育普及事業、調査・研究・ 収集・出版活動事業、 ライブラリー(資料閲覧室)事業	3名	アルバイト7名配置 ライブラリー、操船シミュレーター運営等
一般管理業務 学校関連業務 営業企画業務	営業課	業務推進係 営業係	来館者受付、施設利用許可、訓練センター(研究施設)貸出、シーカヤック教室運営、学校営業・市場調査、金銭取扱、施設維持管理、イベント、広報・企画、営業、特別展示事業、教育普及事業	8名	アルバイト13名配置 受付業務、券売所 シーカヤック教室 業務全般 イベント、広報等
帆船日本丸 管理運営業務	指導課		保存事業、公開事業、青少年 錬成事業、教育普及事業	10名	
計				24名	※他に総務部長1名

(役員・兼務を含まず)

(2)責任体制

指定管理業務については、次の責任体制で効率的な業務執行を図ります。

箇所名	業務責任者	指定管理業務
総務課	総務課長	庶務、経理、人事、給与、売店運営
学芸課	学芸課長	横浜みなと博物館事業 常設展示事業 特別展示事業 教育普及事業 調査・研究・収集・出版活動事業 ライブラリー(資料閲覧室)事業
営業課	営業課長	来館者受付、施設利用許可、訓練センター(研修施設)貸出、シーカヤック教室運営、学校営業・市場調査、金銭取扱、施設維持管理、イベント、広報、企画、営業、特別展示事業、教育普及事業
指導課	指導課長	帆船日本丸事業 保存事業、公開事業、青少年錬成事業、教育普及事業

(3)防犯・防災対策

施設利用者の安全及び財産保全を第一に、昼夜防犯・防災及び事故防止に努め、不測事態が発生した場合は、「緊急連絡体制」により、管理運営責任者の指示のもと最善の対応を実施します。

防犯・防災・事故防止等の対策として、昼夜委託警備体制で施設の巡回及び定位置警備を行うことにより、利用者の安全を確保し、施設内では火気・施錠等の管理徹底を図り、退所時は「防火等管理簿」の各項目の確認処理を行うなど、引き続き事故防止に取り組みます。

(4)事故・災害発生時対応

施設内で発生した事故・災害等の緊急対応については、「緊急連絡体制 (P5参照)」により即応します。指定管理業務の遂行にあたっては、横浜市港湾局関係部署と常に連携を図り、緊急対応や安全確保に努めます。

①施設内の巡回警備・施設点検について

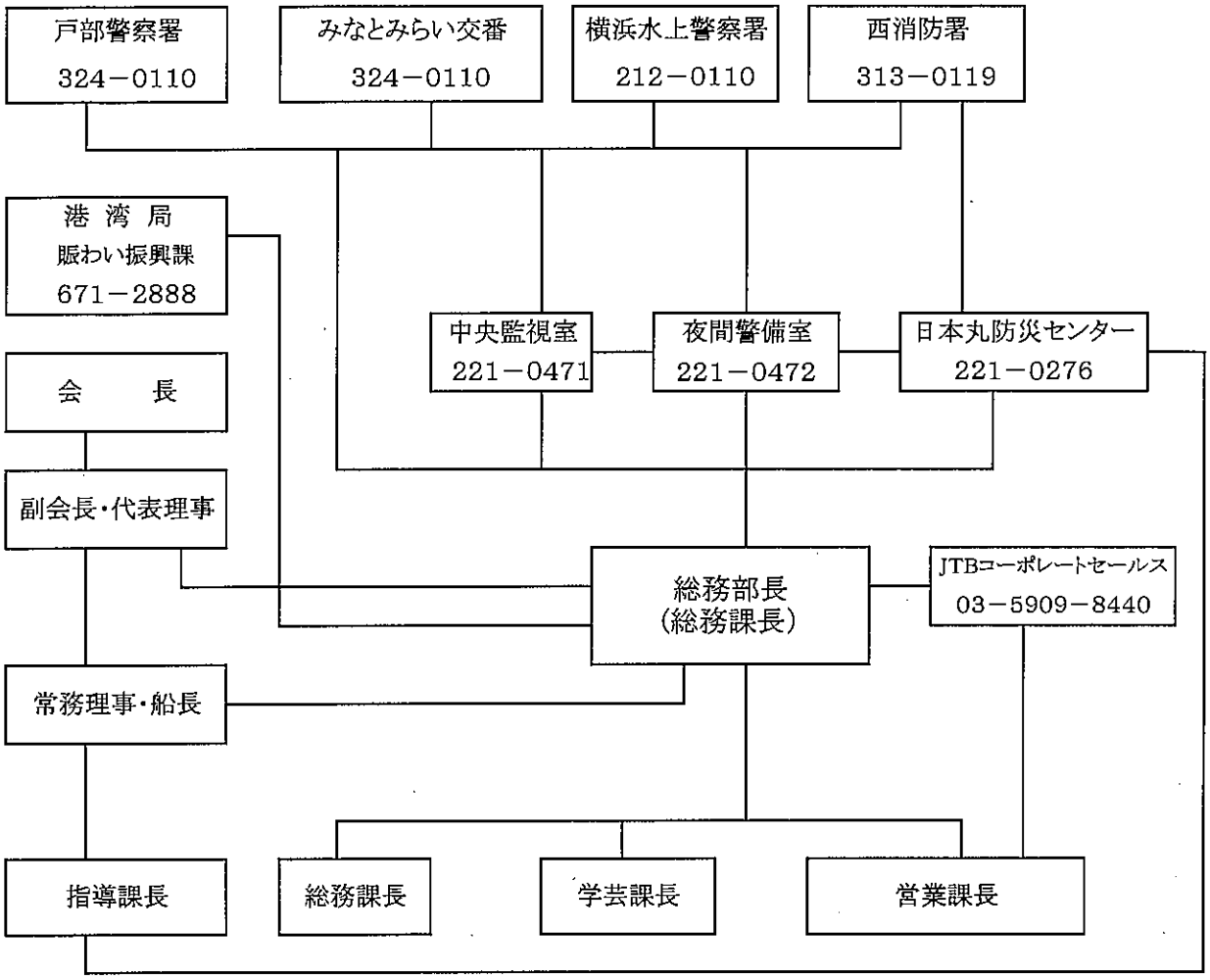
管理運営は第一に「安全管理」である事を認識し、事故防止に万全を期すため施設内を警備員が定期的に巡回警備を行い、また、随時に職員が施設設備の巡回点検を実施することにより早期発見に努め、施設利用者の安全確保を図ります。

②夜間及び休館日の事故・災害等の対応について

帆船日本丸及び横浜みなと博物館に、各1名警備員を常駐させ早期対応体制を構築し、「緊急連絡体制」により迅速に対応します。

以上、日本丸メモリアルパークの管理運営に関する基本協定書第40条に基づき、平成25年度実施された第三者評価の結果を考慮し管理運営の安定性に積極的に取り組みます。

(5)緊急連絡体制表



※総務部長不在のときには総務課長が、総務課長不在のときには庶務係長が確実に連絡することとします。

5、指定管理業務計画

(1)年間事業計画表

管理運営に関する基本協定書に基づき、確実に業務を執行するとともに、役職者業務調整会議を定例的に開催し、その内容(決定事項等の詳細)を職員に徹底し、また、市民に広報活動を通じて情報を公開し、年間目標を達成するため、着実に業務を遂行します。

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1. 帆船日本丸事業													
保存事業													
公開事業	公開(月曜日等休館)										検査工事		
	総帆展帆 (計12回)	○○	○	○○	○	○	○○	○○	○	−	−	−	−
	満船飾 (計13回)	○	○○○	−	○	−	○○	○	○○	○	○	−	○
青少年錬成事業(海洋教室の実施)											検査工事		
教育普及事業											検査工事		
2. 横浜みなと博物館事業													
常設展示事業													
特別展示事業		—		—	—	—		—	—	—	—	—	—
教育普及事業													
調査・研究・収集・出版活動事業													
ライブラリー(資料閲覧室)事業													
3. 日本丸メモリアルパーク事業													
日本丸メモリアルパーク(緑地等)の維持管理・活用													
訓練センター(研修施設)の管理運営													
4. その他													
集客・プロモーション事業													
自主事業			—			—				—	—		

①運営業務に関する計画表

各施設の公開時間

施設名	開館時間	休館日	摘要
緑地	24時間(終日)		
帆船日本丸	午前10時から午後5時まで	月曜日(祝日にあたる時は翌日休館) 12月28日～12月31日 1月28日～2月23日	帆船日本丸は検査工事のため、休館日に変更あり
横浜みなと博物館	午前10時から午後5時まで	月曜日(祝日にあたる時は翌日休館) 12月28日～12月31日 1月28日～2月1日	横浜みなと博物館は、燻蒸のため、休館日に変更あり
訓練センター(研修施設)	午前9時から午後10時まで	12月29日～12月31日	

②管理業務に関する計画表

種　別	箇所・業務名	内　容	回数等
有資格者の配置	帆船日本丸	船長及び一等航海士	通年
	横浜みなと博物館	学芸員、司書、電気主任技術者 サービス介助士	
安全管理	日本丸メモリアルパーク(緑地)	＊警備員による通常警備(監視業務・巡回警備等)、特別警備(左記のうち必要な箇所)、交通誘導(日本丸メモリアルパークの緑地)	通年又は随時
	帆船日本丸		
	横浜みなと博物館		
	訓練センター(研修施設)		
	タワー棟	＊防火管理者　緊急対応	随時
	屋外トイレ	＊職員による巡回点検	随時
設備維持管理	中央監視設備	横浜市が認定した有資格業者に管理委託 日常巡視点検 定期点検整備 法定点検整備	◎電気・機械設備等保守点検月1回及び年1回実施 ◎消防・特別高圧変電設備等法定検査　年1回実施
	電気設備		
	空気調和設備		
	給排水衛生設備		
	昇降機設備		
	消防関係設備		
帆船日本丸 船体検査・整備		横浜市からの要請による関係官公庁等と連絡対応	年1回(約1ヶ月)
小破修繕	建築物等、帆船日本丸、電気・機械設備等、昇降機設備	指定管理施設等の修繕が不可能な場合は横浜市と協議	
設備関係の測定及び記録	運転・作業日誌、日常巡視点検記録、定期点検・測定記録、業務連絡簿は3年間保存 事故障害記録、補修・改良工事記録は5年間保存 設備機器・工具計測台帳、設備図書は永年保存		
清掃	日本丸メモリアルパーク全体		
植栽管理	日本丸メモリアルパーク(緑地)		

③提案事業に関する計画表

事業名	内　容	実施回数等
帆船日本丸親子展帆	帆船を身近に感じていただくため、親子対象の参加型小規模展帆を実施。	7回程度
横浜みなとキッズクラブ	海・船・港に親しむ児童対象の体験型学習講座を新設。	7回程度
サンデー・ペーパークラフト教室	リピーター拡大策として、ファミリーを対象にしたペーパークラフト教室を実施。教育活動ボランティアによる事業のひとつ。	50回程度
「海と山と丘の公園交流事業」	当パークと神奈川県立相模原公園、国営アルプスあづみの公園(長野県)それぞれの特色を生かして、地域を越えた自然交流や子どもたちの体験教室等を実施。	3回程度
JTBとの連携事業	JTBコーポレートセールスなどを通じて、自治体、自治体の関係団体、業界団体、企業等のプロモーション事業をアリーナで開催いただけるよう、積極的に誘致していく。	3回程度

④外部委託予定表

原則として次の業務を指名競争入札により委託します。

種　別	名　称	発注時期
電気設備	電灯・動力、受電、自家発電、直流電源、通信・情報、外灯、防犯、配電、消防設備	平成27年3月及び随時（短年契約）
機械設備	給排水衛生、空調、昇降機、監視制御装置、防災、自動ドアー	平成27年3月及び随時（短年契約）
清掃業務	日本丸メモリアルパーク(緑地・屋外トイレ)、帆船日本丸、横浜みなと博物館、訓練センター（研修施設）、タワー棟	平成27年3月及び随時（短年契約）
警備業務	日本丸メモリアルパーク(緑地)、帆船日本丸、横浜みなと博物館、訓練センター（研修施設）、タワー棟、屋外トイレ	平成27年3月及び随時（短年契約）

⑤要望対応方針・事務フロー

施設利用者の要望収集は、窓口等の直接的な要望とアンケート調査等の要望の2つに分けられます。

ア）窓口等の直接的な要望

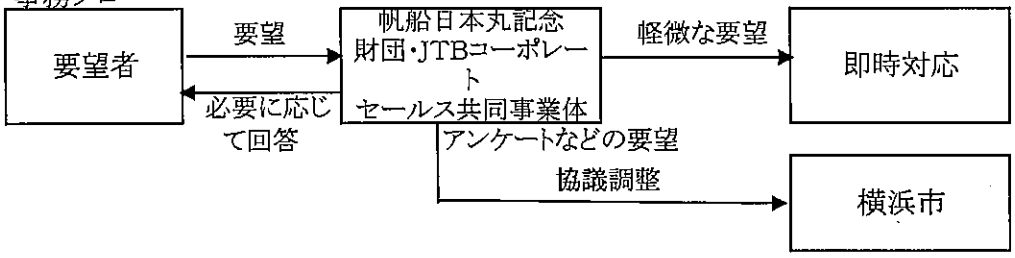
担当者が即時対応し、完了後、所属課長より総務課長に報告します。

イ）アンケート調査等の要望

・毎日の施設利用者としての「利用者アンケート」の意見や要望内容を集約し、毎日の朝礼で確認し、通常業務へ反映させ、具体的に実施します。

・日本丸及びみなと博物館の全体的なアンケート調査を年1回実施し、管理者調整会議や職員ミーティングなどで内容を分析し、必要な事項は今後の業務へ反映し、具体化します。
また、必要に応じて横浜市の関係機関と協議を行います。

事務フロー



⑥研修計画表

研修項目	研修内容	実施回数・時期	備　考
マナー研修	窓口・電話応対等接遇	年1回　・　2月	
業務研修	障害者への対応等	年1回　・　2月	
個人情報保護研修	重要性と管理方法	年1回　・　2月	
人権啓発研修	人権意識の醸成・事例研究	年1回　・　2月	
防災訓練	情報伝達・避難誘導・消火器操作・放水	年2回　・　9月・1月	
ボランティア研修	展示関係研修・教育関係研修	年6回　・　4・10・2月	
コンプライアンス研修	随時案件処理研修	年1回　・　8月	

6、指定管理業務に係る当該年度の収支計画表

(1)収　入

(単位:千円)

科　　目	予算額	備　　考
指定管理料	302,823	
利用料金収入	50,360	観覧料収入、海洋教室等収入、その他事業収入
自主事業収入	25,461	提案事業収入
その他の収入	56,848	助成・協賛金収入、寄付金収入、 基本財産運用収入、特定資産取崩収入
収入合計	435,492	

(2)支　出

(単位:千円)

科　　目	予算額	備　　考
指定管理施設 運営事業費支出	372,910	帆船日本丸事業費支出、横浜みなと博物館事業費支出、 緑地事業費支出
指定管理者 管理費支出	48,183	指定管理者施設管理費支出
自主事業費支出	14,399	提案事業費支出
支出合計	435,492	

当期収支差額	0	

7、年間の指定管理業務の範囲外の事業計画表及び収支計画表

(1)事業計画表

ア)ミュージアムショップの運営

来館者の記念になるような帆船日本丸や帆船関係、横浜港に関連する記念グッズを取り揃えるとともに、魅力ある商品の開発、店内レイアウトの工夫、販路開拓やセール期間を設けて売上げ増を図ります。

(2)収支計画表

ア)収入

(単位:千円)

科　　目	予算額	備　　考
特定資産運用収入	3,650	
記念品販売収入	15,000	
雑収入	360	
収入合計	19,010	

イ)支出

(単位:千円)

科　　目	予算額	備　　考
財団管理費支出	7,428	
記念品制作費支出	13,516	
支出合計	20,944	
当期収支差額	△1,934	